

太陽黒点観測報告

2019年5月

観測者 : 村上昌己

1) 概況

今月は、月初めの連休後半は蓼科へ移動しての観測となった。天候は全般に晴天傾向で雲の出る日も多かったが、観測日数は増加した。気温は下旬には高温注意情報が出るようになって、22日には北海道では記録的な高温の日が出た。関東南部の当地でも季節はずれの真夏日が数日続いた。

黒点活動は、上旬から中旬にかけて北半球に、回帰群を含む二つのJ型群の出現があった。どちらも発達することはなく、西縁に向かって衰えていった。南半球では依然として黒点活動は見られず、昨年12月下旬以来の無黒点が続いている。30日には、北半球の西側に微小群を拡大して見つけたが、投影像では位置が取れず無黒点とした。

今期は主に2217周期の観測だった。私の所では、北半球に2群の新しい黒点群を観測した。

2) 日別観測記録

Table with columns: 日付時刻 (Date JST), 北半球 (N. Hemisphere), 南半球 (S. Hemisphere), 全面 (Whole Disk), 中心帯 (Central Circle Z), 相対数 (Relative Number), 視相 (Seeing), 肉眼黒点群 (Group observed by the naked eye), 天候 (Weather). Rows include dates from 01 to 31 with detailed observation data.

合計 20 89 0 0 20 89 8 48 289 128 -- (--/ 0日)

相対数(10g+f) 289 0 289 128
日平均相対数 11.1 0.0 11.1 4.9
相対数活動比 100 % 0 % 44.3%
相対数前月比 -8.1% ±0 % -8.1% +7.0%
日平均相対数 6.7 0.0 6.7 3.0
修正値 (k=0.6)

観測日数 26 日

観測地 : 神奈川県横浜市泉区和泉中央北 (北緯 35° 25.2' 東経 139° 29.4')
* 長野県茅野市豊平チェルトの森 (北緯 35° 59.8' 東経 138° 17.5')

使用機器 : 10cm屈折望遠鏡 (f=1200mm) 48倍 15cm投影、80倍、96倍にて拡大スケッチ・黒点数カウント
* 6.5cm屈折望遠鏡 (f= 780mm) 43倍 15cm投影、62倍、87倍にて拡大スケッチ・黒点数カウント

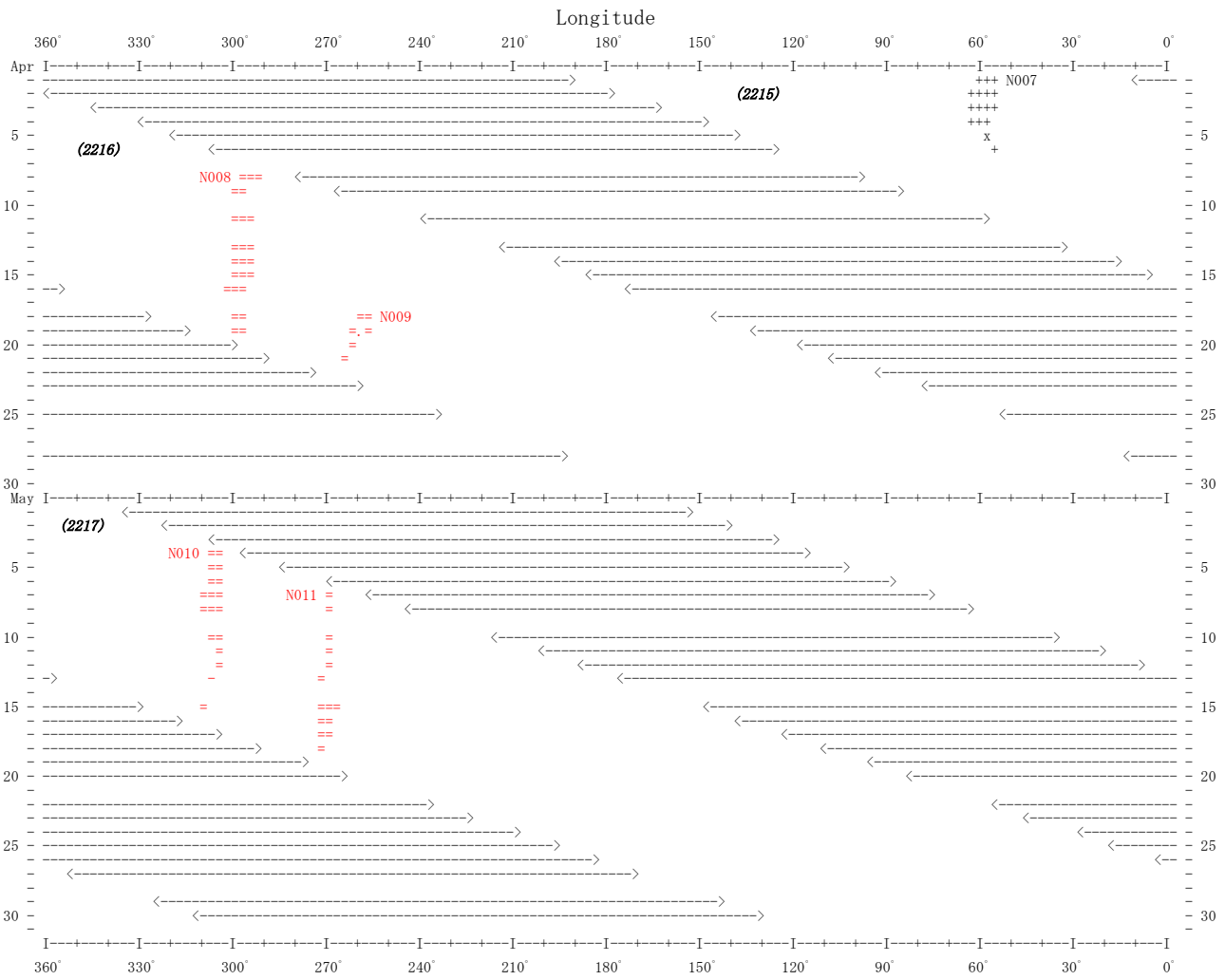
3) 黒点群活動表

北半球

周期 番号	群番号 Group Number	太陽面 緯度 Lati.	太陽面 経度 Longi.	観測 初日 F.Obs.	観測 中央通過 C.M.P	期間 末日 L.Obs.	活動状況 Before C.M. Passage :CMP: After C.M. Passage
2217	12740	N19010	N07-10 304-309	May 04	10	15	ea J1 J3 J1 J5 J9 - :J7 :J9 J5 A2 - a1 w1
2217	12741	N19011	N04-07 267-272	07	13	18	ea J2 J3 - J3 J7 J4 :J6 :- J7 J6 J5 J3 w1

Sunspot Drift-Chart April 2019 ~ May 2019

北半球 Northern hemisphere



Date Latitude : 00° ~ 10° : == , 10° ~ 20° : +++, 20° ~ 30° : == , 30° ~ : *** / West Edge :--> , East Edge : <--

略語表

e: East hemisphere; w: West hemisphere; c: Center;
 a: Appear; d: Disappear; o: Outbreak; l Lose;
 */_ : Visible to the naked eyes; uk: UnKnown; x: Not find; (p): penumbra

南 半 球

周期 番号	群番号 Group Number	太陽面 緯度	太陽面 経度	観測期間 初日 中央通過 末日	活動状況 Before C. M. Passage :CMP: After C. M. Passage
Ro. #	NOAA Murakami	Lati.	Longi.	F. Obs. C. M. P L. Obs.	- - - - - : - : - - - - -

(None)

Sunspot Drift-Chart April 2019 ~ May 2019

南半球 Southern hemisphere

